

子どもの結婚を願うすべての親御さんへ

親が読む 子どもの 結婚応援本

今、親が動くときです。

- ♥ 親世代とは違う子どもたちの結婚事情
- ♥ 親の心配・子の本音
- ♥ 親子の胸の内ランキング
- ♥ 普段からできる婚活へのサポート
- ♥ 親子のコミュニケーション
- ♥ 親の後押しで実ったHappy Story
- ♥ かがわ縁結び支援センター(EN-MUSEかがわ)

未婚時代を生きる子どもの幸せのため

「結婚」への夢や期待はいつの時代も変わることがありません。

ただ、最近その状況が少し変わってきたようです。

昔（今の親世代のころ）ならば、結婚することが当たり前でした。

経済成長のさなかで、将来への不安も少なかったと思います。では、今はどうでしょうか。

結婚しなくても生きていける、結婚以上に大切なものがある。

そんな風に考える若者や、雇用事情や経済的な不安から結婚に踏み切れない

悩みを持つ男女が目立ちはじめ、出会いの機会がないという悩みも増えています。

結婚することが難しい社会なのかもしれません。何もしなければ未婚のまま年を重ねる

未婚時代に今、最も不安を感じているのは親御さんではないでしょうか。

では、「子どもの結婚」のために親御さんは、どんな態度で、

どんなサポートをすればいいのでしょうか。その参考として、この冊子をお届けします。

親子の考えの違いを認め合い、語りあい、情報交換をし、親子二人三脚で

素敵な「パートナー」との出逢いのため役立ててほしいと思います。

人生は繋がりです。地域や家族の支援のなかで、次世代の新しい家族を創造し、

希望の持てる生き方を見つけましょう。

監修 板本 洋子

結婚問題アドバイザー NPO法人全国地域結婚支援センター（P-Coネット）代表

●プロフィール／茨城県日立市生まれ。1969年日本青年団協議会へ勤務、事務局員として青年団活動に従事して、全国各地の若者問題に関わる。1976年財団法人日本青年館に移籍。その後日本青年館事業の一つとして結婚相談所が設立されると同時に専任となり、1984年より所長となる。2008年結婚相談所長を退任後、「専門相談員」として結婚相談事業に関わる。2012年全国地域結婚支援センターを設立し、代表に就任。2014年10月、香川県主催の「親世代向け結婚応援シンポジウム」にて講演を行う。



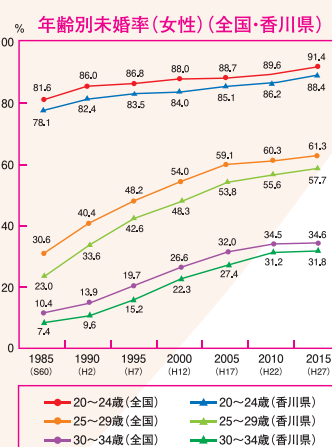
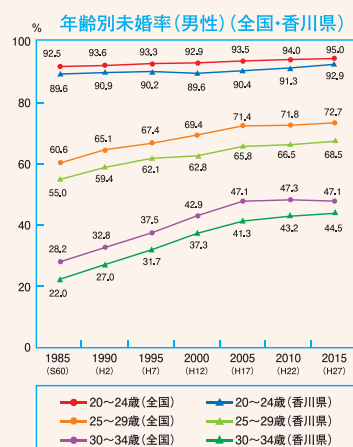
今、親が動くときです。

めに

ができることは何か。



●香川県の未婚率の推移



総務省「国勢調査」

未婚率は年々上昇しており、香川県においても平成22年には30～34歳の男性で43.2%、女性で31.2%の方が未婚となっています。少子化の大きな要因とされている「未婚化・晩婚化」の流れを変えるため、香川県では、平成28年度に「かがわ縁結び支援センター(EN-MUSU かがわ)」を開所し、結婚を希望する男女に対して1対1の個別マッチングによるお見合い事業(縁結びマッチング)や、登録企業・団体等が実施する婚活イベント(縁結びイベント)の支援等を行っています。

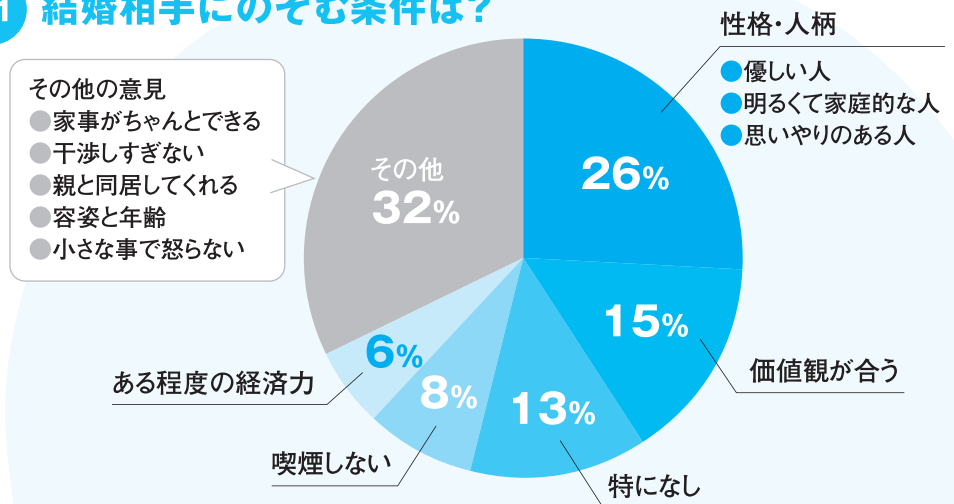


親世代とは違う、子ども

♥ 結婚相手の内面的なことが気になる。

男性が女性にのぞむ条件は、性格や価値観など、内面的なことが上位を占めています。夫婦円満な家庭を築きたいという思いが強いようです。

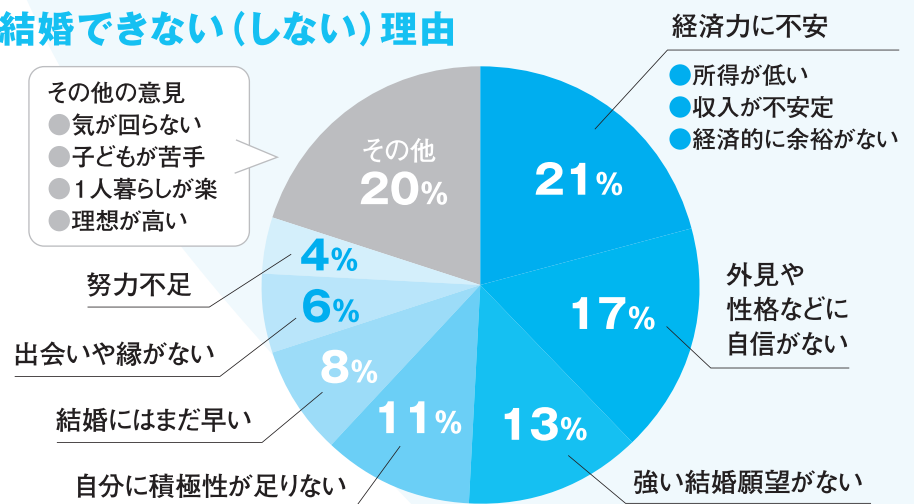
Q1 結婚相手にのぞむ条件は？



♥ 自分に自信を持てない。

経済力、性格や外見など、自分に自信がないために結婚をためらう男性が多いようです。男性に「経済力」を望む女性が多いことにもリンクしています。

Q2 結婚できない(しない)理由



♥ 別居派が大半も同居願望も根強い。

妻のことも考えて親と別居するという回答が多く寄せられました。一方で、同居して親の面倒をみることに強い責任感を持つ方も2割以上いました。

Q3 結婚後の自分の親との暮らし方

場所問わず別居…43%
同居……………21%
近くで別居………15%

その他の意見

- はじめは別居、そのうち同居
- 年に1回顔を見せればいい
- 2世帯住宅による同居
- 結婚相手による

※香川県の子世代100人に聞いたアンケートより。

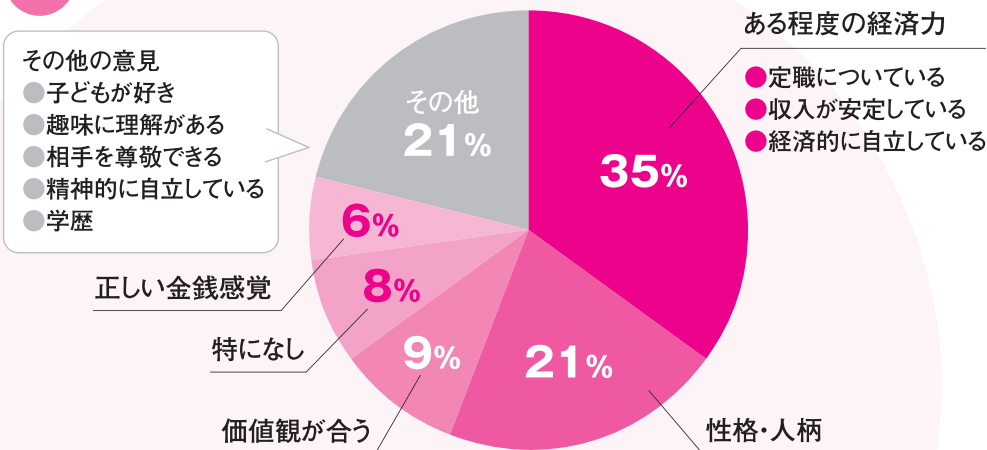
たちの結婚事情。

香川県の男女
100人の声

安定した家庭を望む冷静な視点。

結婚ということになると、女性にとっては男性の経済力が大きな基準になるようです。安定した家庭を望むため冷静に判断しています。

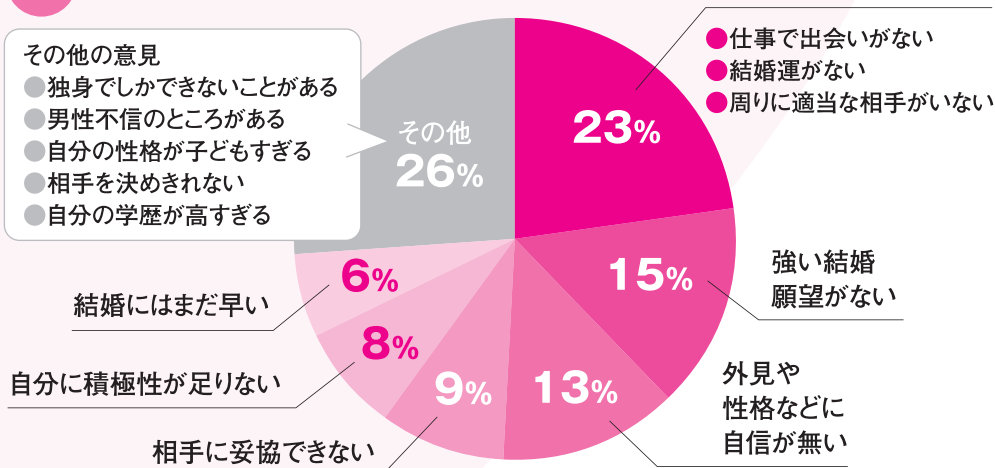
Q1 結婚相手にのぞむ条件は？



出会いの場を求めている。

多くの女性が、出会いがなく、周りに適当な相手がいないと感じています。一方、「相手に妥協できない」という回答は女性だけに見られた傾向です。

Q2 結婚できない(しない)理由



できることなら別居したい。

親と別居で暮らしたい女性が圧倒的多数。とはいえ、何かあれば面倒を見られるように近所に住むことをのぞむ方が約半数もいます。

Q3 結婚後の自分の親との暮らし方

近くで別居……………49%
場所問わず別居…36%
同居……………8%

その他の意見

- いずれは同居する
- 経済的な理由で同居はありうる
- 今と変わらない生活がしたい
- 結婚してみないとわからない

時にすれ違う、親

子どもがいくつになっても、親はその将来が心配。
一方、子どもにもそれぞれ考えがあり、悩んだり迷
時にすれ違うこともある双方の言い

親の心配



跡取りがない
と不安になる

54歳・男性
自営業

結婚が遅いと
出産が難しくな
るから…

53歳・女性
パート・アルバイト

甘やかして育て
たので結婚でき
るか心配

57歳・男性
自営業

子どもの収入
で結婚できる
か不安

68歳・男性
自営業

金銭感覚に
問題がある
相手はダメ

73歳・女性
専業主婦

未婚では子
どもの老後
が心配

74歳・女性
その他

子どもが結婚し
ないと自分の老
後が不安です

60歳・女性
パート・アルバイト

向こうの親と
の同居は認め
られない

57歳・女性
専業主婦

仕事が面白い
といって結婚
しない

70歳・男性
経営者

このままでは
孫の顔が見ら
れない

61歳・男性
公務員

地元の人
と結婚して
ほしい

60歳・男性
公務員

いい人が見
つかるかどう
か心配

52歳・女性
専業主婦

子育てのことを
考えて早く結婚
させたい

57歳・男性
会社員

しっかりしてや
さいい人と結婚
してほしい

50歳・男性
公務員

どうすれば結婚
する気になっ
てくれるのか

64歳・男性
無職

と子どもの考え。

人生を左右する結婚についてなら、なおさらです。
ったりしながらも自分の人生と向き合っています。
分、その代表的な声を集めました。



子の本音

友だちが結婚したことをチクチク言わないで

26歳・男性
会社員



収入面で結婚できるか自信がない

33歳・男性
会社員

親が相手に嫉妬している時がある

23歳・男性
パート・アルバイト

相手の親とうまく付き合えるか不安

36歳・女性
会社員

俺がお前の年には…はやめて!

33歳・男性
会社員

将来ずっと一人かとも考えると不安

37歳・男性
会社員

結婚していないことを責められるとつらい

28歳・女性
会社員

可能な限り結婚後も親の面倒をみたい

26歳・女性
会社員

相手のことを学歴や年齢で拒否しないで

34歳・女性
会社員

相手の容姿まで口出ししないでほしい

27歳・女性
会社員

結婚する気がないわけではないけど…

28歳・女性
会社員

結婚してお金に困りたくない

31歳・女性
その他

ちゃんと子育てできるか心配

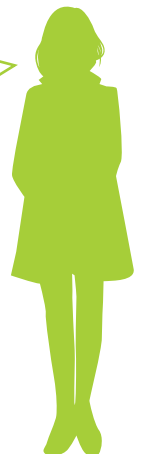
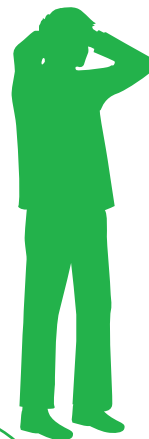
30歳・女性
会社員

独身じゃないとできないこともある

31歳・女性
パート・アルバイト

相手の親族まで詮索されていやになった

23歳・女性
学生



よけいなひとと言、口に

子どものことが心配で、ついつい口にしてし
そのひと言がお子様をナーバスにさせ、結
「干渉されている」と感じさせないように気配りしながら、

ついつい言ってしまうひと言
RANKING



早く結婚したら

2位 いい人いないの？

3位 孫の顔が見たい

4位 結婚する気あるの？

5位 年とって困るよ

こんな人と結婚してほしい
RANKING



**性格・人柄の
いい人**

2位 子どもが選んだ人ならいい

3位 ある程度経済力のある人

4位 良識のある人

5位 子どもを大切にしてくれる人

こんな結婚は認められん！
RANKING



不真面目な人

(誠意がない、自堕落など)

2位 仕事が不安定

3位 年齢が離れすぎている

4位 相手に子どもがいる

5位 お金にだらしない

親

子どもが心配で
ついつい干渉してしまう。



出していませんか？

もうひと言。もちろん悪気はないのですが、
婚を重荷に感じているかもしれません。
本当に必要とされているサポートを続けたいものです。



私のことを信頼してほしい。

親に言われたくないひと言 RANKING



1位

早く結婚したら

- 2位 孫の顔が見たい
- 3位 いつになったら結婚するの？
- 4位 いい人いないの？
- 5位 ○○さんは…(誰かとの比較)

親にしてほしくないこと RANKING



1位

いちいち
干渉する

- 2位 相手のことを悪く言う
- 3位 勝手に結婚相手を見つけてくる
- 4位 親の婚活(代理お見合い、親のみの婚活)
- 5位 相手への詮索

親にのぞむこと RANKING



1位

見守ってほしい

- 2位 信頼して任せてほしい
- 3位 応援してほしい
- 4位 なにもしなくていい
- 5位 親も相手を探してほしい

子

親力



♥ 親がしっかり情報収集する。

子どもがなかなか結婚しない(できない)様子を見て、自分の時と比べてあれこれ言っても、かえって本人を傷つけるだけです。最近の結婚事情がどうなっているのか、まずはご自分で調べて状況を把握してください。昔と比べると本当に結婚が難しくなっており、子どももそのことで悩んでいるのです。また行政・民間を問わず、どのようなサポートがあるのか、親がしっかり情報収集をすることも大切です。何もわかっていないのに口を出すと話はややこしくなるだけです。状況がきちんとわかっていれば、適切なアドバイスができるし、その言葉に説得力があります。



♥ 子どもの状況に合わせたアドバイスを。

闇雲に子どもに「早く結婚しろ」と言っても、状況はなににも変わりません。集めた情報を、今度は子どもが置かれている状況にきちんとあてはめることが大切です。出会いが少ないことが原因であれば、仕事以外の時間がとれる環境が必要です。また、婚活パーティの情報を教えてあげるチャンスかもしれません。経済的なことに不安を憶えているようであれば、さりげなく「私たちも結婚した当時は収入が少なかったけど、なんとかなったよ」などと話してあげてもいいですね。仮にその時は「ふーん」と興味なさそうにしても、適切なアドバイスは心に残るものです。





板本先生からの提言①

親の支援

子へ

普段からできる 婚活へのサポート。

まず実践してほしいことは、「親世代の意識を今の結婚事情に合わせることです。その上で、親が子どものためにできる婚活のお手伝いがあります。親が参加する婚活パーティなどもそのひとつですが、普段からできるアクションも大切。親もしっかり勉強して、自分の子どもにあったサポートを探しましょう。

♥ 親にも覚悟が必要。

最近、特に思うことは親にも覚悟が必要だということです。もしかしたら「家を継いで欲しい」という願いが子どもの結婚のプレッシャーになっていませんか。あるいは「初婚の相手じゃないと認めない」という思いはありませんか。それを敏感に感じ取って交際相手を親に紹介できない子どももいます。人と人の出会いは様々で、誰がどんな人と結ばれるかわかりません。親には親の思い描いた子どもの将来像があるのはよくわかりますが、子どもが選ぶ人を認めてあげる覚悟も必要だと思います。どんな相手であっても、時間をかければお互いに理解できるものです。



♥ 親の人脈づくり。

親にできる具体的な婚活の支援のひとつは、人脈づくりだと思います。まず親がいろいろな場所に顔を出して、信頼できる知人や友人を増やすこと。そういう人との会話では、おのずと子どもの話になります。「まだ結婚していない子どもがいて…」なんて話をすれば、縁談が舞い込んでくるかもしれません。ケータイなどで常に子どもの写真(画像)を持ち歩いておけば、さらに準備万端ですね。これは良縁を呼ぶ込む環境づくりだと考えてください。



親カ

親子の コミュニケーションが 大きなポイントになる。

婚活とは直接関係がなさそうな「親子のコミュニケーション」こそ、結婚を後押しするポイントであると考えています。親の言葉が結婚へのプレッシャーになることもあれば、親の言葉で気持ちが楽になることもあります。時間を作って、きちんと結婚の話をしてみてはいかがでしょうか。

♥ 自分たちの結婚の話をする。

ぜひ親御さんに実践していただきたいのが、子どもに自分たちの結婚の話を聞かせることです。照れくさいでしょうけど、例えばなにかのタイミングで外食の場を用意すると話しやすいと思います。出会いからはじまって、今までのヒストリーを語ってください。苦労話もたくさんしてあげるといいですね。状況が悪くても2人ならなんとかなる。そんな話が結婚に対する重荷を軽くするかもしれません。そして同時に、「どんな相手でもいいよ」とか、「同居しなくてもいいよ」など、自分の思いをしっかりと伝えてあげてください。

♥ NGワードで子どもを責めない。

ついつい「誰かいい人いないのか」「休みの日くらいどこか出かけたら」なんて言葉を子どもにかけていませんか。そう言われても、本人にとっては結婚へのプレッシャーになるだけ。「ほっといて!」と怒って終わりです。孫の顔が見たい、お前が結婚するまで安心できない、〇〇さんも先日結婚した…など、暗に子どもを責めるような言葉は婚活のNGワードです。芸能人の熱愛報道を見て「あの人も結婚するのね」という言葉すら、子どもにすれば自分へのあてつけに聞こえることがあります。親子とは言え、デリカシーをもって接しましょう。





板本先生からの提言②

親子のコミュニケーション

親子へ



♥ その一言で楽になる。

なにも言わなくても、親が思う以上に子どもは自分の家族のことを考えています。一人っ子が多い時代、男女を問わず「自分が跡を継がないと」とか「親と同居しなくては」と考えている子どもは多いのです。もし親御さんがそう思っていないのなら、「私たちは同居を望んでいないよ」「好きなことをやればいいよ」と伝えることが大切です。その一言で、子どもの気持ちはずっと楽になります。収入に不安をもつ子どもも多いので、「いつでも子育てを手伝うよ」など、共働きをサポートする言葉もいいと思います。場合によっては、「キッチン別」などやり方次第で、同居も経済的なサポートになります。

♥ 出会いのあとが肝心。

婚活パーティやお見合いで出会いがあっても、結婚まで結びつかないケースが増えています。どのタイミングで連絡すればいいのか、どれくらいの頻度で相手と会えばいいのか…と悩む若者が多いのです。そこで私は「3の法則」をおすすめしています。気に入った方には出会ってから3日以内に連絡する。付き合うことになれば週に3回会う(つもりで連絡をとる)。3ヶ月は会い続ける。この3つです。相手のことを気づかいすぎて、すれ違う人があまりにも多い。3の法則は、マナーを守りながら自分の熱意を伝えられる目安です。子どもが悩んでいるようでしたら、ぜひ3の法則で背中を押してください。



Happy Story

親の後押しで 実った

ハッピー ストーリー



episode.1

お見合いもひとつの出会いのカタチ。

2015年の3月に結婚を控える坂出市のKさん(30歳)。親戚のおばさんが持ってきたお見合い話から結婚相手を見つけました。

Kさんの実家は野菜を栽培する農家。暑い日も寒い日も両親が一生懸命働いている姿を見て、いつの間にか「長男の自分が跡を継ぐのは当たり前」と考えるようになっていたそうです。大学卒業後に家業を継ぎ、結婚を意識し始めたのは26歳を過ぎた頃から。Kさんとしては、友人の集まりに顔を出したり、地域の行事に積極的に参加するなどして、交際相手を探したそうですが、なかなか相手が見つかりませんでした。「仕事を手伝ってほしいわけでも、同居をしてもらいたいわけでもないんです。それでも『そうなんじゃないの?』というイメージで敬遠されていたと思います」。

すると28歳を過ぎた頃から、今度は両親や親戚の方がお見合いの話を持ってくるようになりました。Kさんは、その話を素直に受け入れたそうです。「お見合いをしたから結婚しないといけないわけじゃない。ひとつの出会いのカタチとして気軽に何度かお見合いしました」。ほどなく良縁に恵まれ、現在の婚約者に出会いました。

話を持ってきたのは、小さい頃からいつも気に掛けてくれていたおばさん。おばさんが通っている生け花教室の生徒さんに「これは!」と思う女性があり、その生け花の先生を通じてお見合い話が進んだそうです。「あらかじめ結婚後の暮らし方を伝えてあったこともよかった」と振り返るKさん。両親や親戚の方の協力を得て、素敵なハッピーストーリーが生まれました。



episode.2

親子のコミュニケーションが大切。

高松市のHさん(30歳)は、彼女と両親4人で出かけた日帰り旅行がきっかけとなって結婚を決めました。

就職して5年。仕事にも慣れたHさんには、両親にも紹介している彼女がいました。しかし「自分の実家は田舎だし、両親は同居を望んでいる」と考えており、プロポーズに踏み切れずにいました。そんな頃に、突然両親から「彼女も連れて、4人で日帰り旅行に行かないか」と提案されたのです。戸惑いながら彼女も了解してくれ、4人で淡路島に出かけました。その道中、両親から「もし結婚したら別居して暮らしてね」という話が出たそうです。この旅行を機に、Hさんの思い込みが解消されただけでなく、母親と彼女がメル友になり、お互いに信頼感も生まれました。そして半年後、結納を交わして結婚が決まりました。「両親とのコミュニケーションで結婚の障害が解決できた」と喜ぶHさんです。



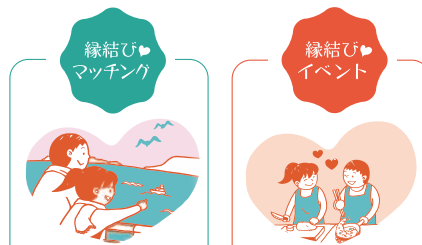
episode.3

両親の昔話が結婚の後押しに。

高松市のNさん(28歳)は、「両親の若い頃の話が結婚の後押しになった」そうです。

就職して6年、結婚したお兄さんにかわいい甥や姪が生まれ、「自分の家族っていいな」と考えていたNさん。学生時代からつきあっていた彼女はいましたが、自分の収入に自信がなく、貯金も少ないために結婚を躊躇していました。そんなある日、実家で暮らしていたNさんにお父さんが結婚間もない頃の話聞かせたそうです。「子どもが生まれたのにミルクを買うお金に困って、車を売ろうとしたこともある。でも2人がんばればなんとかなるもんだよ」。その話で「結婚は経済面よりお互いの気持ちが大切だ」と気づき、意を決して彼女にプロポーズ。無事に結婚が決まりました。「あの親父の話に勇気をもらいました」とNさんは感謝しています。





“結婚...いつかしたい。
そのいつかのために
今、一歩を踏み出そう。”

EN-MUSUかがわ Webサイト画面

縁結びマッチング♡ 1対1の出会い！

結婚を希望される20歳以上の独身男女の1対1の出会いをサポート。
会員登録制でプロフィール情報を検索し、気になる相手へお引合せを
申し込むことができます。

マッチング会員登録

EN-MUSUかがわの
タブレット端末より
お相手を検索

ご希望のお相手に申込み

お引合せ

相手がOKの場合、縁結びおせっかい
さんが同席の上お引合せ(お見合い)
※別途お引合せ料が必要です。

マッチング会員になるには？

- 1 「EN-MUSU かがわ」の
WEB サイトにアクセスして
仮登録、来所を予約。
- 2 「EN-MUSU かがわ」に
来所のうえ、ご自身の
プロフィールを本登録。

登録料／10,000円

※2年間有効
※途中退会の場合も返金はされません

マッチング会員登録に必要なもの

- 入会申込書
(WEB サイトから入会申込みの場合は不要)
- 誓約書
- 独身証明書(原本・コピー1部)※3ヶ月以内。
- 健康保険証(原本・コピー1部)
- 写真付きの身分証(原本・コピー1部)
※運転免許証またはパスポート等
- 写真1枚
(本人のみ、3か月以内撮影、上半身L版サイズ)
- 登録料

縁結びイベント♡ 楽しい出会いイベント♪

メルマガ・イベント
ユーザー登録
無料!!

応援団体が企画・実施する、独身男女を対象とした、
出会いの機会となるイベント情報をセンターに集約し、
メルマガで配信。WEBサイトでイベントのチェックや
参加申込みができます。

メルマガユーザー登録をして
イベント案内を受信

イベント参加のために
イベントユーザー登録

WEBサイトからイベント参加申込み

抽選結果通知

縁結びイベントへ参加

かがわ縁結び支援センター

〒760-0017

香川県高松市番町一丁目10番35号

香川県社会福祉総合センター 1F

TEL: 087-862-1711

FAX: 087-862-1713

EN-MUSUかがわ

検索



<https://www.ems-kagawa.jp>



曜日	月	火	水	木	金	土	日
開所時間	10:00～17:00	13:00～20:00	13:00～20:00	13:00～20:00	休み	休み	10:00～17:00

祝日・年末年始(12/29～1/3)はお休みです。



かがやくけん、かがわけん。

香川県

香川県健康福祉部子育て支援課 総務・少子化対策グループ

Tel:087-832-3287 Fax:087-806-0207 E-mail:kosodate@pref.kagawa.lg.jp

URL:<https://www.ems-kagawa.jp>

EN-MUSUかがわ

検索